

京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 19 平成21年3月 発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育室 213-5472 http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0_2.html

「安全・安心なまちづくりに向けて」

「京都市学校安全ボランティア講習会」開催！ (2月9日京都市総合教育センター)



今年度3回目(最終回)となるこの講習会では、学校安全ボランティアの方々等約250名が全市から参集され、京都産業大学大学院法務研究科長 藤岡一郎教授に講演いただきました。

藤岡先生には京都市子ども安全会議顧問として、本市の子どもの安心・安全の確保に関する施策推進に多大のご尽力をいただいているところです。

講演では、「見守り活動は子どもを育成する営み」「子ども自身が自ら危険を回避する能力の育成が大切」「『子育て』から『子育て』へ」「自分たちのまちをどのようなまちにしたいのか、理念が重要」「Win-Winの関係、構築へ」など、藤岡先生の豊富な経験とお人柄に基づくお話をいただき、参加者が前向きに考えることのできる講習会となりました。また、講演に先立って、前回講習会(11月12日開催)で出された質問・意見の報告があり、課題を共通理解しました。

参加者からの意見

- ⊗子どもたちの多様な成長を保障するために、見守り活動を義務ではなく、結果でなく、そのプロセスに重きを置き考えていきたい。
- ⊗学社融合による成功例()や学校の果たすべき役割についてあらためて考えさせられた。
学校内に生涯学習の場を設けて、高齢者と子どもが交流し、共に帰宅するため、下校時の見守り活動が不要となった。
- ⊗安心マップづくりのプロセスで子どもたちが学んでいく。共感する。
- ⊗地域の実情に応じた安心・安全なまちづくりの方法を学ぶことができた。
- ⊗児童の自主性を育てることの重要性には共感した。
- ⊗見守り隊の活動をする人材を集めることの難しさ、又、継続することの難しさには、今日の社会にも理由があるとよくわかった



藤岡一郎教授

前回講習会 意見・質問

- 学校全体の体制はできているが、その機能や質の向上が不可欠である。学校を司令塔として、できることからコツコツと働きかけていくことが重要と思う。
- 朝は毎日保護者が交代で主要な横断歩道に立ち、下校時は各種団体の方が見守り活動を行っている。
- 当地域では市のネットワーク形成事業、府の助成品とも活用し、1年目は見守り隊ジャンパ、2年目は学区安全マップ、3年目は安全シールに充当。
- 今までは子どもと挨拶を交わしていなかったが互いに挨拶を続けているうちに顔を覚え、励みや生き甲斐となっている。口コミでさらに参加者を増やしたい。

子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう!

各校区の事例紹介 地域ぐるみの子ども安全活動の取組

梅津小学校区(右京区)



梅津小学校区では、子どもたちの下校時に「地域の目」で子どもたちを見守り、安全確保に向けて取り組んでいこうと、自治会連合会をはじめ地域各種団体の方々やPTAが中心となって、平成18年1月に「梅津子ども見まもりたい」が発足しました。早いもので発足してから約3年。現在172名の会員の方々にご登録をいただき、お蔭様でこの間大きな事故もなく、毎日白と水色の目印の帽子をかぶり、子どもたちを温かく見守り続けていただいています。

一方、朝の登校については各町内の登校班ごとに集団登校をしています。PTAの地域委員さんが中心となって、各町内・各登校班で当番を決めていただき、当番の方が黄色い登校旗を持って、毎朝校門付近まで引率していただいています。また、年間を通して毎週金曜日の登校時に、学校の正門と西門の2か所で「PTAあいさつ運動」を続けています。PTAの各委員会で当番を決めていただき、今年度新調した黄色いたすきをかけて、「おはようございます！」と子どもたちと元気よく朝のあいさつを交わっています。



朱雀第八小学校区(中京区)



暑い日、寒い日、雨の日も、子ども達の毎日の登下校を「子ども見守り隊」の構成メンバーである女性会や自治連合会、有志の方々が見守ってくださっています。今年度は、少年補導の方々が児童館との連携の下、下校パトロールをしてくださいました。

昨年度発足した学校運営協議会の「安心と安全部会」は、自主防災会・消防団・交通安全協議会等の方々で構成しています。そこで企画した「自転車教室」「夏の夜回り教室」を今年度開催しました。

「自転車教室」は、交通安全協議会・学校運営協議会・堀川警察署の皆様にお世話になり、信号を守った走行・交差点での止まり方・ジグザグ走行など、安全な乗り方を教わりました。また、自転車の安全点検もしていただきました。

「夏の夜回り教室」は、自主防災会・消防団・学校運営協議会・消防署・地域・保護者の皆様にお世話になりました。夏季休業中の夕刻に学校に集合し、まず、防火についての話を聞き、その後グループに分かれて「火の用心」「火の用心」と防火を訴えながら巡回しました。防火活動に地域の様々な人々が関わっていることを知り、子ども達の防火意識向上への大変よい機会となりました。